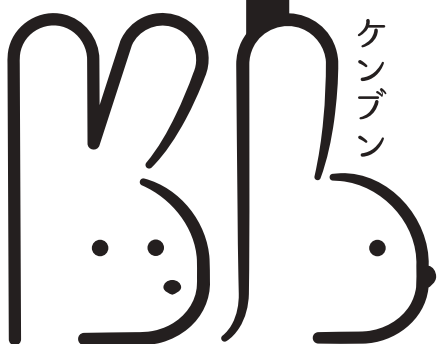


# KENBUN JOURNAL

新しいケンブン

New Culture, New Experience  
愛媛県県民文化会館



ケンブン

EVENT  
ホッキョクグマ・ピース25歳お祝い会

2024.12.7

COVER  
しろくまピース



写真提供: 愛媛県立とべ動物園

**KENBUN JOURNAL**  
New Culture, New Experience

愛媛県県民文化会館、略して「ケンブン」から  
ケンブンを築くための情報をお届け!

Vol.004  
2024



アンケートにご協力ください

ケンブンジャーナル編集部 kenbun\_journal@ecf.or.jp

よりよい紙面づくりを目指すため、左記の2次元コードから、ご意見・ご感想をお寄せください。  
【個人情報の取扱いについて】個人情報は読者層の調査のために使用します。また、お寄せいただいたご意見は愛媛県県民文化会館のホームページや  
刊行物などに匿名で掲載させていただくことがあります。ご本人の承諾のない限り、前述の目的以外に使用、第三者に提供することはありません。

Issue

えひめ文化振興コンソーシアム

T790-0843 愛媛県松山市道後町丁目5-1 TEL.089-923-5111  
<https://www.kenbun.jp/>

**TAKE FREE**

**SPECIAL INTERVIEW**

ピース25歳特別企画

ピースは  
愛媛の宝

25歳、  
おめでとう!

ホッキョクグマ・ピース&バリーバ応援会  
代表 木村和代

**EHIME CULTURE**

広報・たぬ子の

ゆかりアーティスト  
interview

**KENBUN COLUMN**

ケンブンケンガク

エヒメ文化を語る

ケンブン人のお仕事

県文と私

ケンブン周辺見学





写真提供:愛媛県立とべ動物園

FEATURE

ピースは愛媛の宝  
25歳、おめでとう!

ホッキョクグマ・ピース&バリーバ応援会  
代表 木村和代さんへインタビュー

【ホッキョクグマピース Profile】

1999年12月2日、父・パール、母バリーバのもとに、愛媛県立とべ動物園で誕生。飼育員の高市さんが母親代わりとなって育て、ホッキョクグマの日本初の人工哺育に成功。てんかん発作など病氣と闘いながらも元気に過ごし、現在も人工哺育の国内生存記録を更新し続けている。

Q.1

ピースが12月2日に25歳の誕生日を迎えます。ホッキョクグマ・ピース&バリーバ応援会の代表を務める木村和代さんは、どのような思いでしょうか。

ピースの24年は、てんかん発症やヘルニア手術、病氣以外にもさまざまな危機と日々隣り合わせの印象です。ですから「今を生きて、とべ動物園にいてくれてありがとう」という感謝の気持ちでいっぱい。担当飼育員の高市敦広さんをはじめ、現場スタッフの皆さん、そしてピースを産んでくれた実母バリーバに、私たちなりにできる恩返しをしたいと思っています。

Q.2

ピースの魅力はどんなところですか？

「無垢さ」「やさしさ」「聡明さ」ではないでしょうか。また、ピースを見ていると、明日が来るのが当たり前ではない感覚も伝わり、こちらもおのずと「生きること」に真摯になれる。実は、

ピースの隠れファンには男性も多いんです。単にかわいいだけでなく、いろいろな人の悩み、孤独な気持ち等々、ピースが寄り添えるはずはないのですが、見る側の琴線に触れているのか、とても癒やされると聞きます。ピースの放つオーラはそんな「慈愛」と同時に、野生動物ならではの「畏敬の念」をも抱かせるのだと思います。

Q.3

12月7日にはとべ動物園で「ピース25歳誕生日会」、ケンブンにて応援会主催の「お祝い会」が開かれます。

「ホッキョクグマ・ピース25歳誕生日会」は、7日に行われます。ぜひ、とべ動物園でピースをお祝いしてあげてください。そして「お祝い会」は同日夜に開催します。25歳というホッキョクグマでは長寿に入る節目年になるだけではなく、バリーバもまもなく34歳。共に盛大にお祝いする予定です。ケーキをいただきながらクイズやゲームを行い、全国

からご参加の皆さまの熱い思いも可能な限りお伺いしたいと思います。応援会の会員が中心ですが、一般の方も参加いただけるイベントです。ピースと一緒に祝いするなかで、少しでも幸せな気持ちになっていただけるようにと考えています。

Q.4

最後に、読者の方へメッセージを。

ピースは愛媛の宝。個人的には、忠犬ハチ公以上の存在だと思っています。また、バリーバも命の灯を消さずにいることを、ぜひ知っていただきたいです。ホッキョクグマの寿命は約30年といわれていますから、本当にすごいこと。ピース、バリーバ共に毎朝日本一の記録を更新しながら生きているのです。これからもピースとバリーバを応援していただけたらうれしいです。



バリーバ



昨年とべ動物園で行われた「ピース24歳誕生日会」の様子  
写真提供:愛媛県立とべ動物園

ホッキョクグマ・ピース25歳お祝い会  
12月7日(土)19:00~(18:00開場)  
@真珠の間

「ホッキョクグマ・ピース&バリーバ応援会」主催。ケーキでお祝いしたり、くじ引きやゲーム、プレゼントをしたりなど楽しい企画が盛りだくさん。

問/089-923-6118  
(ホッキョクグマ・ピース&バリーバ応援会)  
¥/6,000円(飲み物付き)  
※事前申し込みが必要

INFORMATION

EHIME CULTURE

伝統文化からサブカルチャーまで愛媛にゆかりのあるアーティストに広報のため子がインタビュー



ARTIST

木工作家・ワイヤーアーティスト  
maru lien キズナ さん

絆が丸く丸く  
永遠に  
続きますように

小さい頃からものづくりが好き。29歳の頃、木工品をイベントで販売し始める。31歳、木工棚に飾る一つとしてワイヤークラフトをはじめ、今に至る。

@marulien\_kizuna

木工作家としてイベントに出店していたmaru lien キズナさんは、「自分のブースには自作のものしか置かない」という考えのもと、自身のブースに飾るため独学でワイヤークラフトを始めた。その後、お客さんからのリクエストに応えるかたちでレパートリーが増え、ディスプレイ雑貨以外にも手掛けるように。ワイヤークラフトは、ワイヤーの長さや角度など僅かな差でパーツのバランスが崩れてしまうため、繊細さが求められる工程の連続だ。だからこそ、何度つくっても一つとして同じものができず、毎回新たな気持ちで作品づくりに挑むことができるのだそう。彼女のアトリエには自身の作品のほか、作家の作品が展示、販売されているので、ぜひ足を運んでみたい。

ゆかりアーティスト  
interview

vol.4

もっと読みたい方はコチラ▶



愛媛の芸術・文化 広報・ため子

「歌うために、楽しい気分であることを意識している」と話す神原かおるさん。次回の公演企画など、常にわくわくすることを考えているのだそう。そんな彼女は、高校の音楽教諭との出会いがきっかけで「声楽の道に進む」と決心したが、大学院に進む際、一度音楽から離れることになり外部講師に指名されたことで、徐々に音楽活動を再開する。自身のことを「口下手だ」と話す彼女は、普段なかなか伝えられない感謝の気持ちをうたに込めて歌っており、「お客さまに満足いただくこと」を第一に考え公演を開催している。あたたかな人柄あふれる彼女のうたを、ぜひ一度聴いてほしい。

ARTIST

声楽家 神原かおる さん

宇和島市出身。愛媛県美術館主催公演や東京オペラ主催公演に出演するほか、三越アトリウムコンサート、坂の上の雲ミュージアムコンサートなど多数出演。

@kaorukambara.rag



口下手だからこそ、  
うたに想いをのせて



KENBUN KENGAKU

## ケンブンケンガク

知らない人も多い(かもしれない)けど、ケンブンって実は名建築。建物のトリビアから普段、見ることができない裏側まで紹介

THEME [ 愛媛でレッドカーペットを歩いてみない! ]



01



02



03



04

01 東側の壁はミラーになっており、空間がより広く見える仕掛けになっている。レッドカーペットに白いテーブルクロスが映える様子も縁起がいい 02 セッティング前の様子。カーテンの向こうにステージが収納されている 03 彩り華やかなビュッフェ料理 04 「真珠の間」のロビー。目の前にエントランスが広がる開放的な空間で、受付や休憩場所等に利用できる

メインホール、サブホールと並んで大人数を収容できる大空間「真珠の間」。集会や式典、パーティ、展示場として利用でき、各種販売会や合同就職説明会などで足を運んだことがあるという人も多いだろう。その収容人数は立食で約1,200人、円卓席で約600人。テニスコート(ダブルス)4面分の広さに相当し、天井高は7m。何も置かれていないときはその広さに圧倒されるし、円卓が整然とセッティングされている様子は爽快である。ステージや音響・照明設備もあるのでライブも開催でき、人数によって2部屋に仕切ることも可能。料理の提供も再開したので、マルチに利用できる。また「真珠の間」といえば「レッドカーペット」。式典やパーティ等にふさわしく、特別な日や祝福の場を彩ってきた。このレッドカーペットを歩くことが「スター体験」と評するウワサもあるとか、ないとか。いずれにせよ、人生の節目を祝ったり、新たな歩みを後押ししたりするのにふさわしい場所であることは間違いない。

## ケンブンのお仕事

KENBUNJIN NO OSHIGOTO

ケンブンで働く人の現場に潜入!



舞台上に照明や道具を吊るすバトンを「綱元」で上げ下げして調整中!



舞台監督 豊田剛基さん

主催者と打ち合わせを行い、その意思をスタッフに伝え、まとめ上げるのが豊田さんの仕事。主催者の意思を見極めることが肝となるため、打ち合わせで8、9割の成功が決まるという。「演出のすべてに携われることがやりがい」と話す豊田さんだが、もっとも大切にしているのは「何事もない」こと。何事もない(事故が起こらない)からこそ、舞台の成功と感動があるのだ。

## 県文と私

KENBUN TO WATASHI

県文との思い出を語る

by フリーアナウンサー 寺岡凛さん

中学生の頃に美術コンクールで受賞し、その表彰式が行われたのがケンブン。賞状を受け取って振り返ったとき、2階や3階の席にもお客さんがいるのを見て「こんなに人が集まる場所があるんだ…スゴい…」と衝撃を受け、この光景が印象に残っています。今は司会の仕事をしていますので、ケンブンのホールに立たせていただくこともありますが、数年前、当時と同じ景色をMCとして見る機会があったんです。あの日の景色が、今日の自分の仕事にもつながっているような気がしました。



県文との思い出募集中

## ケンブン周辺見学

KENBUN SURROUNDING TOUR

ケンブン近くの素敵な施設を紹介



Akatsuki Bleu(アカツキブルー)

季節のフルーツを贅沢に使用したスイーツが魅力。テイクアウトはもちろん、レトロな雰囲気のカフェスペースで味わうのもおすすめ。なかでもピスタチオクリームがたっぷり詰まったシュークリームが人気。ソフトクリームは週替わりなのでSNSをチェック!

住/松山市道後喜多町7-22  
ヤドリギビル1F  
電/089-992-9744  
営/金~日曜のみ営業、11:00~17:00頃



長野県上田市へ。目的は「犀の角」という民間の小劇場体験と、「クラムボン」は笑った」という別役実作品の観劇とそのアフタートーク出演。劇場では代表者の妻の舞さんが待っていてくれて、早々に市内の文化活動の拠点、映画館、ゲストハウス、障がい者が運営する食堂などを案内してくれました。その道々、舞さんが孤独感を深めていることを話の端々に感じました。それほど民間の小劇場運営は孤独との戦いなのです。私もそれを感じ続けてきた一人。お釈迦様は「犀の角のようにただ独り歩め」と孤独を勧めているようですが...



シアターねこ 鈴木美恵子さん  
シアターねこ代表、NPO法人シアターネットワークえひめ理事。松山に表現の場を提供し、松山の演劇に関わる場所をつくりたいと活動。



音楽にまつわる感情を表現する中で、最も使われるであろうフレーズ「エモい」。楽曲を聴いた時、ライブを観た時によく使われるが、「感情を揺さぶられる」「エモーションな気持ちになる」という、いわゆるスラング的な心境表現だ。世代を超えて使われている。だが天邪鬼の私は、なんとか別の言葉で表現してみたい。「バンドのアグレッシブな演奏と曲の熱いメッセージに今までに体験したことがないくらいの楽しさと感動が押し寄せてきて、いつの間にか現実世界のことなんかどうでも良くなってきたら涙が…」…もう文字数足りない「エモい」でええかな?



4曲目 (THEME) 気持の昂りを言葉にせよ。

エディター・ライター 渡邊麻子さん

愛媛在住20年目。年間のライブ参戦数は平均70本~90本程度。音楽的にはとにかく雑食なので、好きなジャンルを開かれると困ります。



一度のバンド解散を経て、数年のブランク後ステージに戻ってきた姿はまさにエモ。



## 時には轍を辿ったり、描いたり。

その④【THEME: No need for words.】

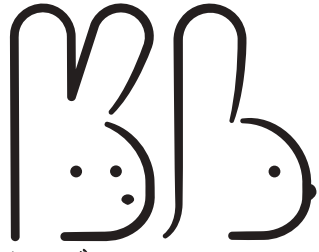
ぼくはモーレツな映画ファンではないけど、映画はなるべく映画館で観るようにしている。この「映画館で」というのが大事で、120分ばかりの時間を外界と分断して過ごすのは何かと忙しい現代ではとても贅沢な過ごし方ってわけ。先月は「松山無声映画上映会」を体験した。百年ほど前につくられた音もセリフもない作品を観ながらミュージシャンが即興で演奏を繰り返していき、その場限りの音と映像の芸術は、映画の可能性を見出させてくれる。映画はオワコン? いやいや、悦楽はスクリーンの彼方にあるのだよ。

本の轍 越智政尚さん  
春日町にて小さな本屋「本の轍」を営む。暮らしとアートに特化した古書、新刊、雑誌などを取り扱う。イベントや展示も行い、文化の発信の場となっている。





# KENBUN SCHEDULE 2024.12-2025.2



ケンブン

①メインホール ②サブホール ③真珠の間 ④県民プラザほか

※本文中のデータは2024年11月10日現在のものです。チケットが売り切れの場合があります。また予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください。

**①**一粒萬倍 A SEED  
愛媛の女神と五穀豊穡の物語  
12月13日(金)①13:00~(開場12:00)、  
②18:30~(開場17:30)

日本最古の歴史書・古事記をもとにした、日本の神々の創世と五穀の起源の物語。日本舞踊や洋舞、邦楽、洋楽、太鼓からなる豪華な舞台が楽しめる。

問/090-8280-3854(一般社団法人 一粒萬倍制作委員会) ¥/SS席7,000円、S席5,000円、A席3,500円、B席2,000円(当日は+500円)

**③**第27回愛・愛チャリティコンサート&オークション

12月21日(土)13:30~(開場13:00)

ひめぎん音楽部「サウンドオアシス」&愛媛新聞社音楽部「フェニックス」OBによるコンサートと、オークション&抽選会。『かなしきデブ猫ちゃん』のマルも登場!



問/089-933-1111(株式会社愛媛銀行 公務ふるさと振興部) ¥/入場無料

**①**第52回愛媛交響楽団定期演奏会

12月22日(日)14:30~(開場14:00)

指揮者に森口真司氏、チェロ独奏に世界的に活躍しているナサニエル・ローゼン氏を招く。ブルックナーの交響曲第4番変ホ長調「ロマンティック」をはじめ、壮大な演奏が繰り広げられる。



問/089-934-2460(愛媛交響楽団) ¥/指定席2,000円、一般1,500円、小中高生700円(当日は+200円、小中高生は+100円)

**③**「シゴト発見フェス」

2025年1月5日(日)10:00~(受付9:30~)

愛媛県内の企業50社が集まる合同説明会。ユニークなコンテンツが企画され、自分の条件に合う企業に出合えるはず。

問/089-913-8686(一般社団法人 えひめ若年人材育成推進機構/ジョブカフェ愛work) ¥/入場無料

**⑤**EHIME MUSIC FESTIVAL

2025年1月19日(日)  
15:30~(開場14:30~)



愛媛の大学生発案で始まった音楽イベント。さまざまなジャンルのバンドが集結。

問/089-927-4777(公益財団法人 愛媛県文化振興財団) ¥/一般5,500円、大学生以下3,500円(当日は+500円)

**③**eスポーツフェスティバル「ポップカルえひめ」

2025年1月26日(日)10:00~

人気ゲームの大会や試遊が楽しめるほか、ドローン操縦ブースやVtuber体験ブース、プロ直伝のCG技術講座など、ゲームの枠を超えて、新たなアソビとワクワクが発見できるeスポーツイベント。



問/089-927-4777(公益財団法人 愛媛県文化振興財団) ¥/入場無料 ※一部ブースにて有料あり

**⑤**EHIME DANCE FESTIVAL 2025

2025年2月2日(日)11:30~(開場11:00~)

県内で活動するダンス教室・団体が一堂に会し、作品を発表する祭典。さまざまなジャンルのパフォーマンスが楽しめる。

問/089-927-4777(公益財団法人 愛媛県文化振興財団) ¥/入場無料

**⑤**オペラえひめ 第16回定期公演  
プッチーニ名曲コンサート「すべては、愛」

2025年2月9日(日)14:30~(開場14:00)

イタリアオペラを代表する作曲家プッチーニのオペラより、オーケストラ・合唱・ソロ・重唱の珠玉の名曲を演奏会形式で上演。

問/080-2587-4947(オペラえひめ) ¥/一般4,000円、学生2,000円(当日は+500円)

**④**KENBUN MORNING MARKET

【vol.2】12月15日(日)9:00~  
【vol.3】2025年1月18日(土)9:00~

毎回テーマを変えて行う朝市。食や雑貨など、健康や自然由来のものにこだわった店舗・作家が出店。vol.2はヨガ体験も。



問/089-945-1139(株式会社エス・ピー・シー) ¥/入場無料



**①**瀬戸内サーカスファクトリー「Workers」

2025年1月17日(金)19:00~(開場18:30)

1970年代、フランスで生まれた総合芸術「現代サーカス」がケンブンに! 香川を拠点に全国で活躍する「瀬戸内サーカスファクトリー」が贈る「Workers」は、職人をテーマにした舞台。息を呑むようなアクロバットと美しい演出で観る者を非日常の世界へと誘う。チケットはe+ (イープラス) で販売中。

問/089-945-1139(株式会社エス・ピー・シー)

¥/全席指定2,500円、小学生以下無料 ※乳幼児の入場は不可

※小学生以下は保護者同伴、定員に達し次第終了

PICKUP

## 県文見聞録 vol.4



ケンブンのイベント知ってる?



イラストレーター misato

松山市在住。クソツと笑えるキャラやイラストが得意。似顔絵グッズや企業キャラクターデザイン等も。



チケット販売のお知らせ

里崎智也氏が語る「エリートの倒し方 ~天才じゃなくても世界一になれた僕の思考術~」

「地方でも夢は叶う」「自分の好きなことで地元を盛り上げよう!」をテーマに、さまざまな分野で活躍する著名人を招き、モチベーションアップや新たな気づきを提供する「ケンブン大学」。第1回目の講師はプロ野球選手として現役時代は二度の日本一を経験し、2006年のWBCでは正捕手で日本を世界一に導いた里崎智也氏。モチベーションの保ち方や夢実現のためのヒントを語る。チケットはケンブン北入口2階 第2事務室でも販売中(平日9時~17時)。

「第1回ケンブン大学」~地方でも夢はかなう!~

2025年1月13日(月・祝)13:30~(開場13:00) 問/089-927-4777 (えひめ文化振興コンソーシアム) ¥/全席指定1,500円(当日は+500円)

LOOK FOR

## RESTAURANT INFORMATION



レストランのお知らせ

会議弁当もおまかせ! 準備から後片付けまで楽々

会議や研修に欠かせない弁当も1階レストランを運営する「(株)ベルモニー」で注文可能。松山鯛めしや焼き豚玉子飯風の弁当、豪華な二段折など予算に合わせて選べる。さらに今後、店舗で提供しているランチメニューもテイクアウトできるようになる予定。お楽しみに!

▶弁当のご予約:089-953-2300(マリパールスパイア内) ※10日前までの要予約

## KENBUN JOURNAL

New Culture, New Experience

2024 vol.004

企画・発行: えひめ文化振興コンソーシアム

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5-1 TEL 089-923-5111  
<https://www.kenbun.jp/>

ケンブンジャーナル編集部: 愛媛県県民文化会館内 企画・編集: 藤崎純子・河内春香・植松郁香・河野英一郎(以上えひめ文化振興コンソーシアム)、松下亮介・和氣敬憲・高須美登里・池川ゆかり デザイン: 林真央・土居麻巴香(以上エス・ピー・シー) 印刷: セキ株式会社 2024年11月24日発行/※掲載データにつきましては、2024年11月10日現在のものです。情報の内容は変更される場合があります。本紙記事、写真等の無断複写、及び転載を禁じます。



Next Issue

2025年1月発行